

セミナー

日本の海洋教育を考える

日本は四方を海に囲まれた海洋国家でありながら、一般市民の海や船に関する知識・関心は低い。このような状況をすこしでも改善することは海事に係わるものの務めと考えられます。そこで、2005年8月に日本船舶海洋工学会の分野横断型研究委員会として「海洋教育ストラテジー研究委員会」が新設されました。この委員会では、船舶海洋工学分野の専門家集団としての特徴を活かして、次代を担う、主として小中学生を対象とした海洋教育を展開するための検討を開始いたしました。また、将来的には他学会、地域、学校、その他関連組織との連携をはかり、海洋教育発展に向けての流れを創り出したいと考えております。

このたび、最前線で海洋教育活動を実施している国内関連組織、教育現場の方々を講師にお迎えし、海洋教育プログラムの実態把握および情報交換を目的としたセミナーを企画いたしました。開催日時、場所等は下記を予定しております。なお本セミナーへの参加者としては、主として下記の主催・共催学会会員を想定しております。

記

開催日時：平成18年3月28日(火)、13:30-17:30
開催場所：東京海洋大学越中島会館(東京都江東区越中島 2-1-6)
主催：日本船舶海洋工学会
共催：日本航海学会、日本マリンエンジニアリング学会

プログラム：

1)講演：3時間

「琵琶湖における学習船「うみのこ」を用いた「湖の子」体験学習」	廣瀬久忠氏（滋賀県立びわ湖ローテイングスクール）
「臨海小学校における総合学習の状況と海洋教育」	田端元紀先生（江東区臨海小学校）
5年総合学習実践報告「出航高橋丸 みんなでめざせ Horizon」	高橋明久先生（横浜国立大学附属横浜小学校）
「特設クラブ 西柴アマモ隊が意味するもの」	坂田邦江先生（横浜市西柴小学校）
「義務教育の教科書にみる海洋教育の現状」	横内憲久教授（日本大学理工学部）
「初等教育における海洋教育支援の試み」	福島朋彦氏（海洋政策研究財団）
「GEMSの海洋教育用教材プログラムについて」	品川明教授（学習院女子大学国際文化交流学部）
「日本海洋学会の海洋教育活動について」	菊池知彦教授（横浜国立大学教育人間科学部）

2)質疑・総括：0.5時間

参加費：無料
定員：60名

参加をご希望の方は、下記の問い合わせ先まで事前登録をお願いいたします。
なお、当日も受付致しますが、定員に達した場合はお断りする場合がございます。
最新情報は委員会ホームページ (<http://www.ocean.jks.ynu.ac.jp/~me/>) にて公開しております。

問い合わせ先：日本船舶海洋工学会海洋教育ストラテジー研究委員会
幹事 山中亮一(yamanaka@ynu.ac.jp、電話：045-339-4097) 以上